

NY マーケットレポート (2018 年 5 月 1 日)

2018年5月1日 (火)

アジア主要株価	終値	前日比	年初来%
日経平均	22508.03	+40.16	-1.13%
ハンセン指数	休 場		
上海総合	休 場		
韓国総合	休 場		
豪ASX200	6015.23	+32.50	-0.82%
インドSENSEX	休 場		

*香港、中国市場はモーデーで休場

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	109.47	109.48	109.24
EUR/JPY	132.04	132.14	131.97
GBP/JPY	150.47	150.63	150.40
AUD/JPY	82.33	82.54	82.25
NZD/JPY	76.89	77.00	76.84
EUR/USD	1.2058	1.2084	1.2055

欧州主要株価	終値	前日比	年初来%
英FT100	7520.36	+11.06	-2.18%
仏CAC40	休 場		
独DAX	休 場		
スペインIBX35	休 場		
イタリアFTSE MIB	休 場		
南ア全株指数	休 場		

*独仏南ア市場はなどはモーデーで休場

コモディティ	終値	前日比	年初来%
NY GOLD	1306.80	-12.40	0.1%
NY 原油	67.25	-1.32	11.6%
COBTコーン	405.75	+5.00	13.1%
CRB指数	201.26	-0.726	3.8%
ドル指数先物	92.461	+0.620	0.4%
VIX指数	15.49	-0.44	40.3%

米国主要株価	終値	前日比	年初来%
米ダウ平均	24099.05	-64.10	-2.51%
S&P500	2654.80	+6.75	-0.70%
NASDAQ	7130.70	+64.44	3.29%
南北米主要株価	終値	前日比	年初来%
トロント総合	15618.93	+11.04	-3.64%
ボルサ指数	休 場		
ボベスパ指数	休 場		

*メキシコ、ブラジル市場はモーデーで休場

*一部暫定値

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	109.82	109.89	109.52
EUR/JPY	131.75	131.97	131.58
GBP/JPY	149.53	150.01	149.15
AUD/JPY	82.24	82.39	82.04
EUR/USD	1.1994	1.2038	1.1982

Crypto Currency	本 日	前 日
CBOE Bitcoin(先物・期近)	9030	9280
CME Bitcoin(先物・期近)	9035	9310
Ripple (BSTP)	0.826	0.838
Ethereum (BSTP)	663.98	671.49
Bitcoin Cash	1302.98	1369.63

*USD 6:00時点

日本国債利回り	本 日	前 日
2年債	-0.135%	-0.132%
5年債	-0.112%	-0.100%
10年債	0.043%	0.055%
30年債	0.721%	0.746%
欧州国債利回り		
ドイツ10年債	休 場	0.559%
英国 10年債	1.405%	1.418%
フランス 10年債	休 場	0.790%
米国債利回り		
2年債	2.504%	2.488%
3年債	2.640%	2.626%
5年債	2.812%	2.797%
7年債	2.925%	2.912%
10年債	2.964%	2.953%
30年債	3.129%	3.124%

5/2 経済指標スケジュール

08:01	【英国】4月BRC店頭価格指数
08:50	【日本】4月マネタリーベース
10:45	【中国】4月財新メディア製造業PMI
14:00	【日本】4月消費者態度指数
14:45	【スイス】4月SECO消費者信頼感指数
16:00	【トルコ】4月製造業PMI
16:15	【スイス】3月実質小売売上高
16:50	～ 17:00
	【仏】【独】【欧】4月製造業PMI
17:00	【ポーランド】4月消費者物価指数
17:30	【英国】4月建設業PMI
18:00	【欧州】3月失業率
18:00	【欧州】1Q GDP
18:00	【南アフリカ】4月製造業PMI
20:00	【米国】MBA住宅ローン申請指数
21:15	【米国】4月ADP雇用統計
22:00	【シンガポール】4月購買部景気指数
22:00	【シンガポール】4月電子産業指数
23:30	【米国】EIA原油在庫
03:00	【米国】FOMC政策金利

5/2 主要会議・講演・その他予定

・欧州議会本会議 (～3日)

NY 市場レポート

◀ NY 市場概況 ▶

NY 市場では、序盤に発表された米経済指標が冴えない結果となったものの、反応は限定的となった。むしろ、米長期債利回りの上昇を受けて、ドル買い・円売りが優勢となった。その後、米主要株価が軒並み大きく下落したことから、ドル円・クロス円は軟調な動きとなったものの、終盤にかけて株価が下げ幅を縮小したことや、FOMC でよりタカ派的な政策姿勢が示唆されるとの観測を背景に、ドルが再び堅調な動きとなった。ドルは対円で 2/5 以来、対ユーロで 1/11 以来の高値を付けた。米株式市場では、ダウ平均が 3 営業日続落、ナスダック、S&P500 は反発となった。

主要な米経済指標結果

4 月米 ISM 製造業景況指数 57.3 (予想 58.4・前回 59.3)

4 月の米 ISM 製造業景況指数は、前月から 2.0 ポイント低下し、昨年 7 月以来 9 カ月ぶりの低水準となった。ただ、製造業の景気拡大・縮小の分岐点となる 50 は 20 カ月連続で上回った。新規受注が 61.2 (前月 61.9)、生産が 57.2 (61.0)、雇用が 54.2 (57.3)、在庫が 52.9 (55.5) といずれも前月から低下したが、仕入れ価格は 79.3 (78.1) と上昇した。4 月は 18 業種中 17 業種が景況拡大を報告した。



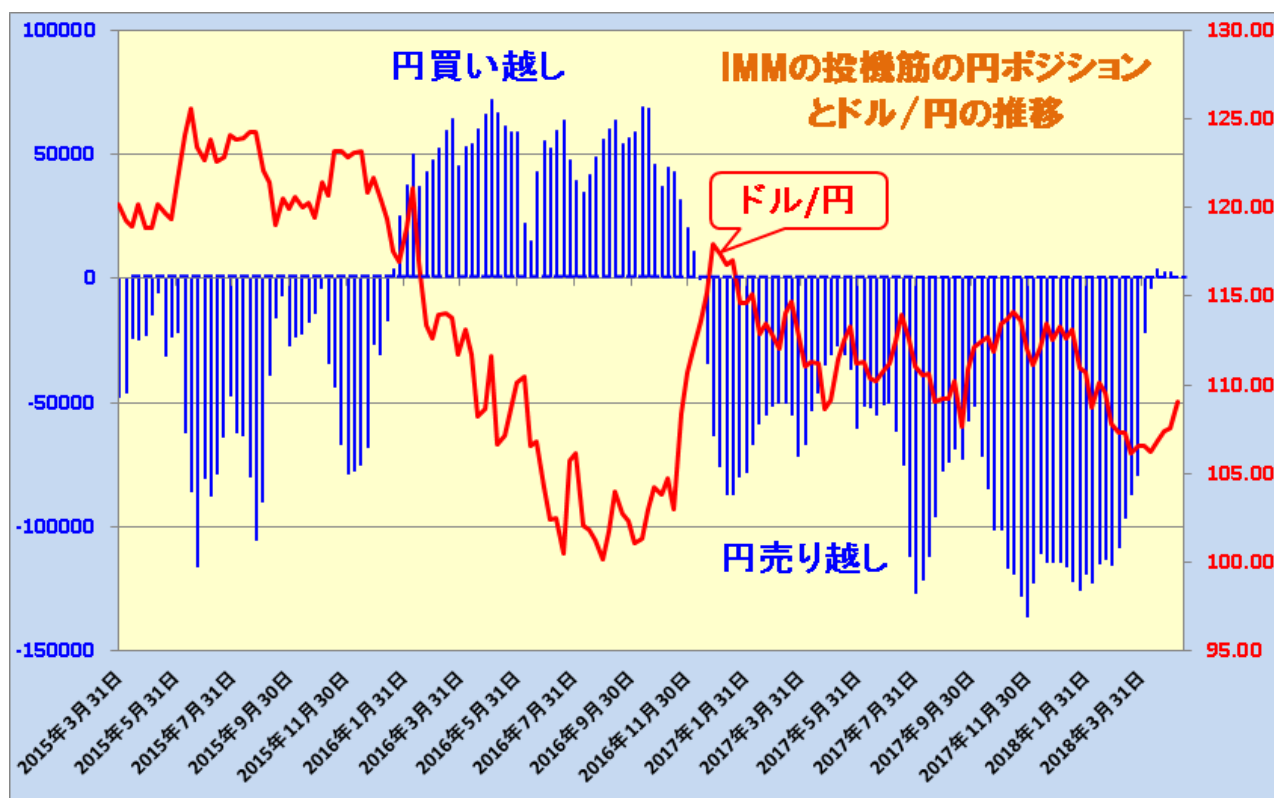
3 月米建設支出 (前月比) -1.7% (予想 0.5%・前回 0.1%⇒1.0%)

3 月の米建設支出は、年率換算で前月比-1.7%の 1 兆 2847.4 億ドルとなった。前年比では+3.6%だった。民間の建設支出は、前月比-2.1%の 9874 億 9200 万ドル、前年比+3.9%だった。住宅建設が前月比-3.5%の 5367 億 8800 万ドル、前年比では+5.3%。住宅以外では前月比-0.4%の 4507.4 億ドル。オフィスや教育施設が増加した一方、商用施設と医療施設の減少が目立った。前年比は+2.2%だった。連邦政府など公共部門の建設支出は、前月比横ばいの 2972 億 4800 万ドル、前年比では+3.0%だった。

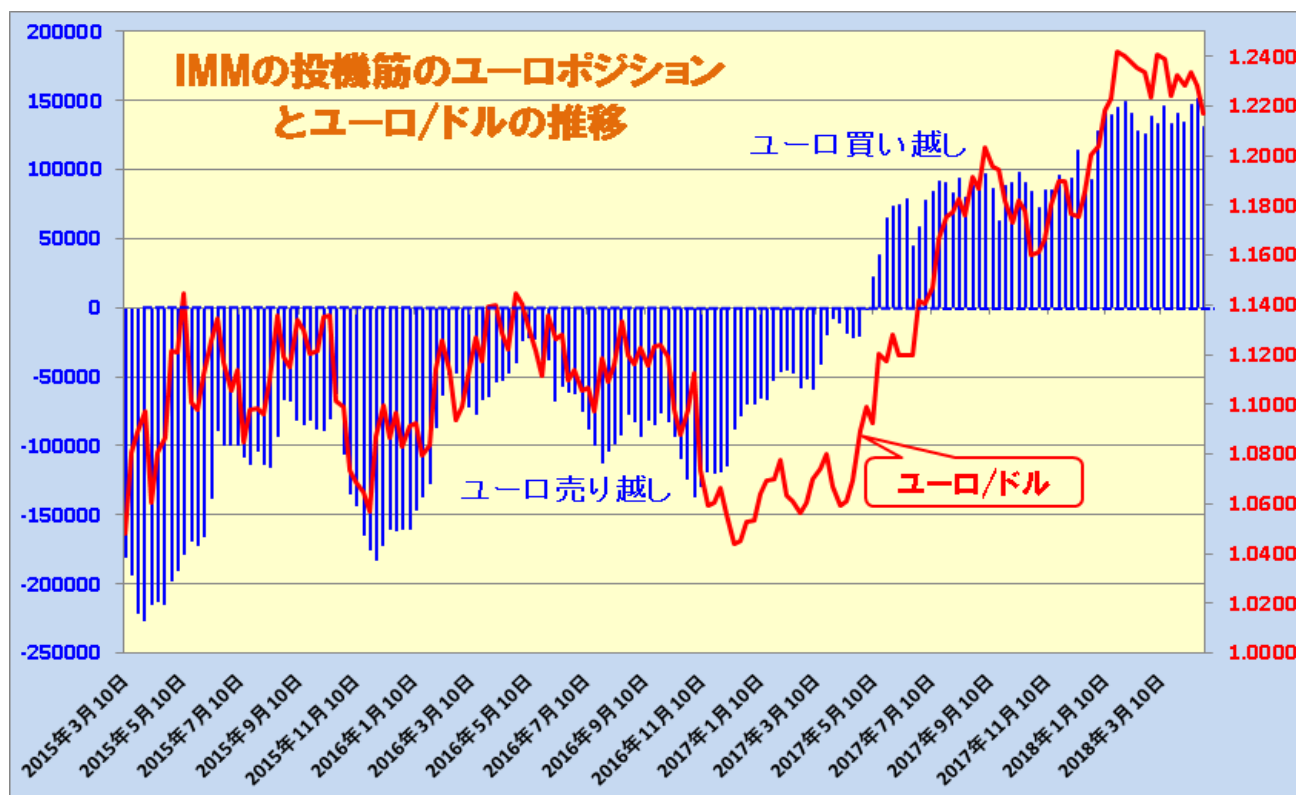


ユーロの買い越しは、過去最高だった前週から減少

CFTC（米商品先物取引委員会）が発表した IMM 通貨先物の投機部門の取組（4/24 までの週）では、ユーロの買い越しは 13 万 0594 枚（前週 15 万 1476 枚）となり、過去最高だった前週から減少し、2 月下旬以来の低水準となった。一方、ドルの主要 6 通貨に対する売り越し額は 197 億 7000 万ドル（前週の 234 億 2000 万ドル）から縮小した。ニュージーランドドル、メキシコペソ、ブラジルレアル、ロシアルーブルを含めた 10 通貨に対しては 238 億 1000 万ドルの売り越し（前週 281 億 8000 万ドル）となり、前週から減少した。また、円の買い越しは 3 週連続の減少、ポンドの売り越しは 4 週ぶりの低水準。



出所：CFTC データを基に SBILM が作成



出所：CFTC データを基に SBILM が作成

ダウは3 営業日続落、ナスダック、S&P500 は反発

米株式市場は、米国と主要貿易相手の貿易摩擦が長期化するとの懸念を背景に、主要株価は序盤から軟調な動きとなった。ただ、米中通商交渉への期待などもあり、終盤には下げ幅を縮小した。ダウ平均株価は、序盤から軟調な動きとなり、一時前日比 354 ドル安まで下落した。その後は下げ幅を縮小する動きとなり、結局 64 ドル安で終了し 3 営業日続落となった。一方、ナスダック、S&P500 は反発となった。



出所：Bloomberg

セクター別変動率(ダウ平均)			個別の変動率(ダウ平均銘柄)		
	セクター	変動率		銘柄	変動率
1	通信サービス	-1.07%	1	ファイザー	-3.31%
2	消費者サービス	-1.01%	2	マクドナルド	-2.39%
3	消費財	-0.70%	3	メルク	-1.51%
4	資本財	-0.56%	4	コカコーラ	-1.43%
	テクノロジー	1.52%		インテル	3.31%

出所：データを基にSBILMが作成

ドル/円は2/5以来の高値、ユーロ/ドルでは1/11以来の安値

NY 市場では、序盤に発表された米経済指標が冴えない結果となったものの、米長期債利回りの上昇が影響し、ドル買い・円売りが優勢となった。その後、米主要株価が軒並み大きく下落したこと、ドル円・クロス円は軟調な動きとなったものの、終盤にかけて株価が下げ幅を縮小したことに加え、FOMC でよりタカ派的な政策姿勢が示唆されるとの観測を背景に、ドルは再び堅調な動きとなった。特に、ドル/円は2/5以来の高値を付けた。一方、ユーロは、ECB の金融正常化の時期に関して疑念が増大しているとの見方が強まっていることなどから、主要通貨に対して軟調な動きが続いており、対ドルでは1/11以来の安値を付けた。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。